

Sx500シリーズスタックブルスイッチのPower over Ethernet(PoE)プロパティ

目的

Power over Ethernet(PoE)は、PoEベースのデバイスで使用できる機能で、ネットワークトラフィックの干渉を受けずに、銅ケーブルを介して接続された受電デバイス(PD)に電力を供給します。「PoEプロパティ」ページでは、ポート制限またはクラス制限PoEモードを選択でき、生成するPoEトラップを指定できます。PDが実際に接続され、電力を消費する場合は、許容される最大電力よりも大幅に少ない電力を消費する可能性があります。電源が投入されたデバイスが破損していないことを確認するために、電源オンのリブート、初期化、またはシステム設定が行われると、出力電力が無効になります。

このドキュメントの目的は、PoEプロパティを設定し、Sx500シリーズスタックブルスイッチのPoE情報を提供することです。

該当するデバイス

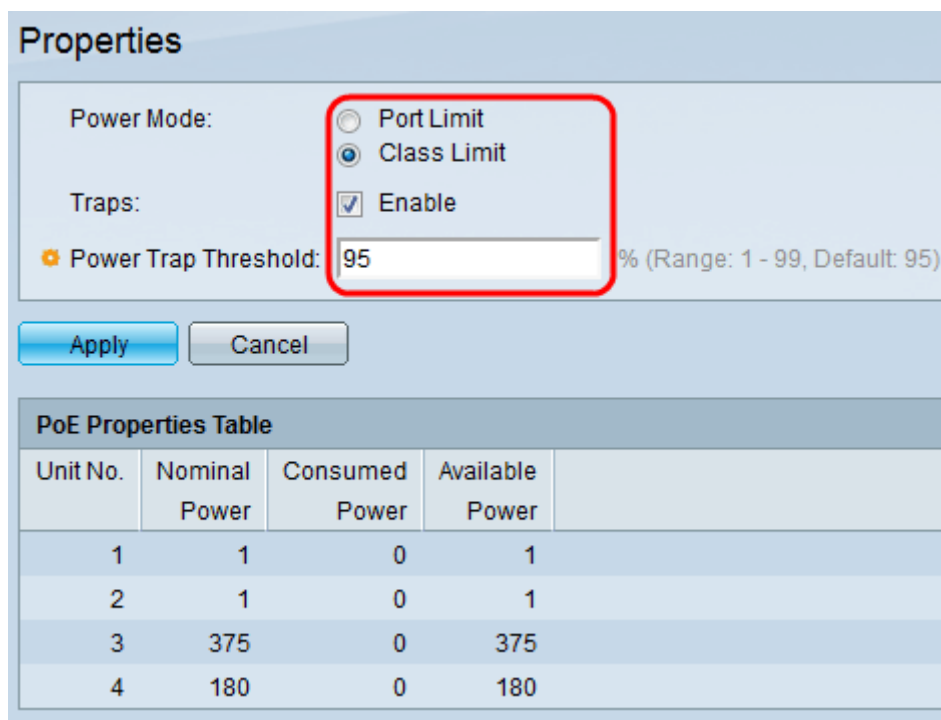
- ・ Sx500シリーズスタックブルスイッチ

[Software Version]

- ・1.3.0.62

PoEプロパティの設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Port Management] > [PoE] > [Properties]を選択します。[PoEのプロパティ]ページが開きます。



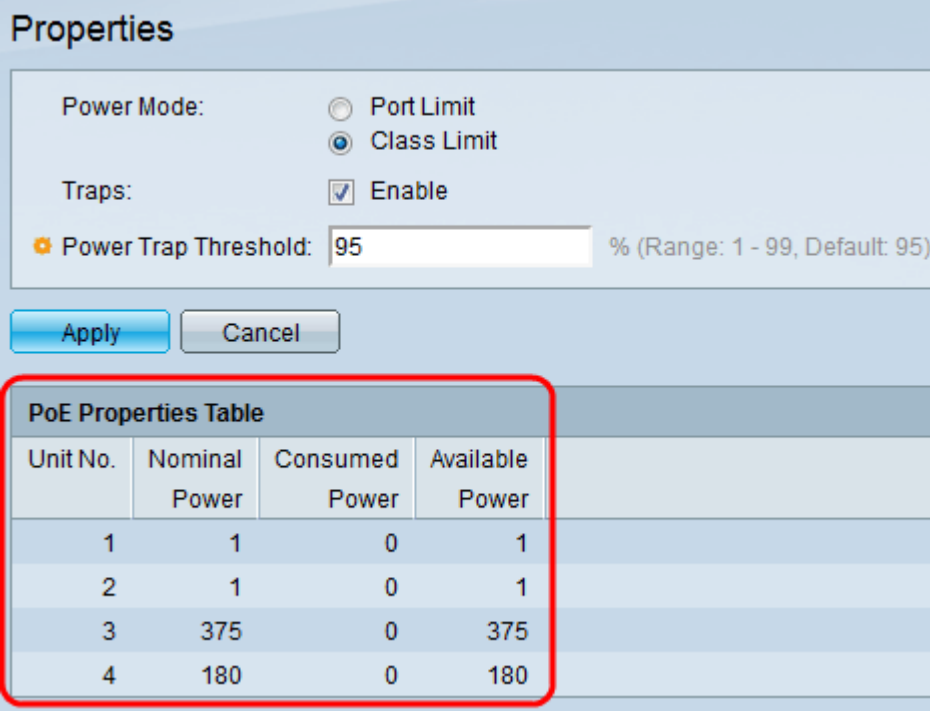
Unit No.	Nominal Power	Consumed Power	Available Power
1	1	0	1
2	1	0	1
3	375	0	375
4	180	0	180

ステップ2:[Power Mode]フィールドで、PoEスイッチの目的の電源モードに対応するオプションボタンをクリックします。

- ・ポート制限：各ポートの最大電力制限は、ユーザによって設定されます。
- ・クラス制限：ポートあたりの最大電力制限は、分類ステージで発生するデバイスのクラスによって決まります。この段階では、PDがクラスを指定します。これは、PDが消費する最大電力量です。このコマンドはデフォルトで有効になっています。

ステップ3：トラップを有効にするには、[Traps]フィールドの[Enable]チェックボックスをオンにします。トラップが有効になっている場合は、SNMPを有効にし、少なくとも1つのSNMP通知受信者を設定する必要があります。デフォルトでは、オンになっています。SNMPトラップの設定の詳細については、「Sx500シリーズスタックブルスイッチでのSNMPトラップ設定の設定」を参照してください。

ステップ4:[Power Trap Threshold]フィールドに、電力制限に対するパーセンテージで表した使用しきい値を入力します。電力がこの値を超えると、アラームが開始されます。デフォルト値は 95 です。



Unit No.	Nominal Power	Consumed Power	Available Power
1	1	0	1
2	1	0	1
3	375	0	375
4	180	0	180

PoEプロパティテーブルには、各デバイスまたはスタックのすべてのユニットのカウンタが表示されます。

- ・ユニット番号 – スイッチスタック内のユニットを表します。
- ・公称電力：スイッチが接続されているすべてのPDに供給できる合計電力。
- ・消費電力量：PoEポートで現在使用されている電力量。
- ・使用可能電力：公称電力（消費電力）。

ステップ5:[Apply]をクリックして変更を保存します。